



小林瑞美さんに相談したい方は  
あい薬局 (Tel.042-669-4780) まで

小林瑞美さんに相談したい方は  
あい薬局 (Tel.042-669-4780) まで  
困難な人、ご自宅で

や薬局に通うことが  
私たちが訪問するこ  
とになります。病院  
に「飲んでますよ」といって  
薬を飲んでなかったりす

「小林さんは、ほかの業種から転職したんだとか？  
小林（以下K）はい、薬学部を出てから薬品メーカーのMR（製薬メーカーに勤める医療情報担当者。日本では営業マンを兼ねることが多い）をやっていました。——いいお仕事ですね。なぜ訪問薬剤師さんに？  
K—宮崎の祖父が、亡くなる前の最後の入院のとき、しきりに「家に帰りたい、帰りたい」と。でも過疎地だったので近くに病院も薬

局もなく、仕方なく入院し続けていた。訪問医療ができる場所ならおじいちゃんに家に帰れたのかもしれない。そんなことを思い出し、25歳の時、まずは保険薬局に転職したんです。その時から訪問薬剤師になる、という意思があり少しずつ始めてはいました。主人の転勤で八王子に来た時も、訪問をやっている薬局を探し入社しました。  
——そうなんです、ところ

で、訪問薬剤師さんはどんな時にお願いでできるのでしょうか？  
K—基本的には、お医者様の指示のもと私たちが訪問することになります。病院や薬局に通うことが困難な人、ご自宅での薬の管理に不安のある人などです。ご高齢者に限らず、ご家族の同意のある赤ちゃんやお子さん、若年層でも状況によっては利用できます。病院で相談なさらずに、直接、薬局にいらしてもご相談には乗れます。——具体的にどんな指導を？  
K—様々なケースがありますが、年齢にかかわらず持病のある方は、多種類の薬を飲んでいることが多い。その吞み忘れを防ぐために、カレンダー式のポケットに入れたり、ピルケースに分けたり、その人の日常生活に合わせ、お薬の管理方法を提案します。あと、高齢の方は、どうしても私たちに「飲んでますよ」といって薬を飲んでなかったりす



# 加藤公恵の 介護の 本音

26

訪問薬剤師さんのことを  
知っていますか？

これは自宅に来て、  
薬の整理や飲み忘れの  
ないように管理してくれる  
薬剤師さんのことです。

今回はこの仕事を志し転職、日々飛び回っている  
コバヤシ ミズミ  
小林瑞美さん(あい薬局)

のお話です

コーディネーター  
加藤公恵 (かとうきみえ)

## プロフィール

医療法人社団永生会  
在宅総合ケアセンター  
センター長  
介護統括管理部長

長年福祉と介護の世界にたずさわる介護のエキスパート。

る。頻繁に顔を出して、仲良くなるところから始め、本当のことを話してもらい、それから、薬の指導に入ったりします。  
——ぜひぶんプライベートに密着する仕事なんですね。K—そうですね、でもこの仕事が好きなので、休日にも患者さんを訪ねてしまおうくらい(笑)。まだまだ訪問薬剤師は少ないし皆さんも知らないのです、この仕事を全国に広めたいです。